

IAEA 総会における日本政府代表による追悼決議ステートメント

議長,
事務局長代行,
御列席の皆様,

本年の総会において、故・天野之弥事務局長追悼決議案を提出いただいた南アフリカ、ドイツ、そして同決議の趣旨に賛同いただいている加盟国の皆様に対し、日本政府を代表して心から感謝申し上げます。

故・天野事務局長は「平和と開発のための原子力」を掲げ、開発課題に取り組み、世界の多くの人々の生活の向上に貢献しました。

本決議案では、そのような故・天野事務局長の功績が称えらるとともに、サイバースドルフ原子力応用研究所の一棟に、同事務局長の名前を冠する旨の決定事項が盛り込まれています。

加盟国の皆様の御理解と御支援により、今後とも、故・天野事務局長の志と功績が受け継がれ、世界の人々の更なる生活の向上、さらには世界の平和と安全の促進につながっていくことを強く祈念いたします。

日本政府としまして、故・天野事務局長の志を胸に、引き続き「平和と開発のための原子力」にかかるIAEAの取組を力強く支援して参ります。

御静聴有り難うございました。

(了)